



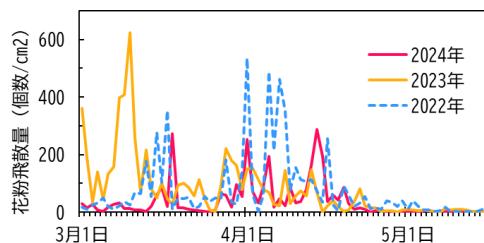
○ 花粉症と気候変動

花粉症の主な原因であるスギ・ヒノキ花粉は、前年夏の気温が高く、日射量が多いほど、飛散量が増える傾向にあります。そのため、今後気候変動によって気温が上昇することにより、激化すると考えられています。

2024年の夏期間(6月～8月)の愛知県(名古屋市)は、平均気温が観測以来最高の27.8°Cを記録し、日射量は過去10年の平均を上回りました。

また、愛知県気候変動適応センターのある名古屋市北区の2022年から2024年までの花粉飛散量を見ると、3月だけでなく4月以降にもピークが表れ、年によっては4月以降の方が多い場合もありました。

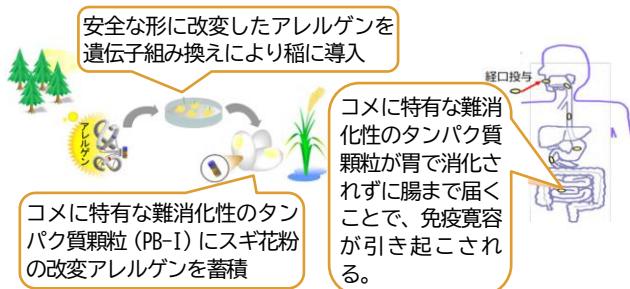
そのため、4月以降の花粉症対策も重要です。



名古屋市北区における花粉飛散量
((株)ウェザーニューズ「ポールンロボ」観測データを用いて作図)

○ 花粉症の対策

花粉症は気候変動によって年々深刻になっていますが、適切な対策を講じることで症状を軽減することが可能です。発生源対策として、花粉の少ないスギ・ヒノキ品種への植替えを推進しており、発症等対策として、アレルギー症状改善が期待されるスギ花粉米等の開発が行われています。



スギ花粉米とその効果

出典:「スギ花粉米とは」(農林水産省)を加工して作成(<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/sugikahunnmai/attach/pdf/240123-3.pdf>)

しかし、このような取組の効果が表れるには時間がかかるため、個人の取組が重要となります。

身近な対策としては、以下のものがありますので、是非、お試しください。

- ・花粉情報をチェックし、花粉の飛散量が多いと予測される日や飛散量が多い時間帯(昼頃と夕方)には、外出を避けましょう。晴れて気温が高い日、空気が乾燥して風が強い日、雨上がりの翌日は注意が必要です。
- ・外出する場合は、花粉から目や鼻を守るためにマスクや花粉用のメガネなどを着用し、花粉が付きにくい服装を心がけましょう。
- ・帰宅後は、手洗いやうがいを行いましょう。洗顔・洗髪を行うのもおすすめです。
- ・洗濯物や布団の外干しを控え、こまめに掃除機をかけて室内の花粉を減らしましょう。

環境調査センター 企画情報部

愛知県気候変動適応センター

電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



愛知県気候変動適応センターだよりのバックナンバーはこちら
<https://www.pref.aichi.jp/site/ailccac/tekiou-dayori.html>

